

紙屋悦子の青春 (2006)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争 青春

製作国 日本

色彩 Color

時間 111分

初公開日 2006/08/12

公開情報 パル企画

【解説】

劇作家・松田正隆が自らの母親の実話を基に書き上げた戯曲を名匠・黒木和雄監督が映画化した戦争ドラマ。太平洋戦争末期を舞台に、海軍航空隊に所属する2人の若者と、一人の純朴な女性との瑞々しくも切ない恋と友情を静かに見つめる。出演は、原田知世、永瀬正敏、松岡俊介。なお、黒木監督は本作の公開を抑えた2006年4月12日に急逝され、これが遺作となった。

昭和20年の春、鹿児島の子田舎。両親を失ったばかりの紙屋悦子は、優しい兄夫婦と3人で慎ましい毎日を送っていた。そんな彼女が秘かに想いを寄せていたのは、兄の後輩で海軍航空隊に所属する明石少尉だった。ところが悦子に別の男性との縁談が持ち上がる。相手は明石の親友、永与少尉だった。それは明石自身も望んでいることだと聞かされ、深く傷つく悦子だったが…。

【クレジット】

監督	黒木和雄
製作	川城和実 松原守道 亀山慶二 多井久晃 鈴木ワタル
企画	深田誠剛 久保忠佳 梅沢道彦
プロデューサー	河野聡 内藤和也 杉山登 大橋孝史 磯田修一
原作	松田正隆
脚本	黒木和雄 山田英樹
撮影	川上皓市
美術監督	木村威夫
美術	安宅紀史
衣装デザイン	宮本茉莉
編集	奥原好幸
音楽	松村禎三

照明	尾下栄治	
録音	久保田幸雄	
助監督	清水俊悟	
出演	原田知世	紙屋悦子
	永瀬正敏	Masatoshi Nagase 永与少尉
	松岡俊介	明石少尉
	本上まなみ	心さ
	小林薫	安忠